

田上町

第73号

平成19年7月27日 発行

議会だより



羽生田小学校運動会(5月27日)

6月定例会	2P・3P
一般質問	4P ~ 10P
常任委員会の動き	11P
議員活動あれこれ / 編集後記	12P

6月定例会

《会期 6月25日～6月29日》

初めての試み

『2日間にわたる一般質問』



〈定例会の経過〉

6月定例会は、選挙後初の定例会で新人議員3名が加わり、小池議長を初め14名の議員により、6月25日から29日までの5日間開かれた。

初日は、議案の上げと一般質問を行い、第2日目も引き続き一般質問が行われた。

第3日目は総務産経常任委員会、第4日目は社会文教常任委員会が開かれ、最終日はそれぞれ委員長報告により、各議案の採決が行われた。

〈一般質問〉

今議会の質問者は7議員。初日は最初に新人議員が引き続きベテラン2議員が質問に立ち、第2日目も新人、ベテラン議員がそれぞれ持ち味を發揮し、2日間とも熱の入った一般質問が行われた。

〈最終日〉

最終日の29日は午後1時30分より本会議が開催され、総務産経常任委員会、社会文教常

任委員会に付託された各議案の審議状況が各委員長よりそれぞれ報告され、全議案を可決・採択し閉会した。

〈提案された議案〉

条例の一部改正

田上町乳幼児の医療費助成に関する条例

田上町国民健康保険条例

補正予算

平成19年度一般会計補正予算(第1号)

同年度下水道事業特別会計

補正予算(第1号)

同年度集落排水事業特別会計

補正予算(第1号)

同年度老人保健特別会計補

正予算(第1号)

同年度介護保険特別会計補

正予算(第1号)

同年度水道事業会計補正予

算(第1号)

報告

平成18年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

県央土地開発公社事業計画書及び事業報告書の提出

常任委員会付託案件審査報告

総務産経

期日 平成19年6月27日

補正予算

一般会計補正

歳入歳出それぞれ76万7千円を追加し、歳入歳出予算総額を41億8千462万7千円とするもの。

歳入は県議会議員選挙の委託業務の確定により36万8千円と基金繰入金725万2千円と特別会計繰入金7千円である。

歳出の主なもの各課にわたる人事異動によるもの。

総務費

選挙事務用品としてパソコン4台購入60万9千円と頑張る地方応援プログラム事業の準備経費35万円。

農林水産業費

農地、水、環境保全向上対策費として307万7千円を補正するもの。

下水道事業特別会計補正

208万8千円の減額補正の主なもの人事異動によるもの。

集落排水事業特別会計補正

新規加入による受益者負担金として13万9千円を3カ

年分納で今年度分4万7千円を収納。

水道事業会計補正

299万円は人事異動による。

いずれも原案可決

委員長 泉田 壽一

社会文教

期日 平成19年6月28日

条例の一部改正

田上町乳幼児医療費助成に関する条例

「乳幼児」を「乳児と子ども」に改めるもの。

田上町国民健康保険条例

対象になる人の一部負担金を10分の1を10分の2に改めるもの。

補正予算

一般会計補正

総務費

人事異動による人件費の

追加が主なもの。

民生費

人事異動によるものと後

期高齢者事業の端末機の設置

衛生費

産休代替の賃金等。

教育費

人員配置による職員の増

減によるもの。

老人保健特別会計補正

後期高齢者事業の端末機の導入

導入

介護保険特別会計補正

大半が事業費の確定による

補正。

いずれも原案可決

委員長 吉田 昭一



社会文教常任委員会

請願(意見書提出)

請願番号	件名	請願者住所・氏名	審査結果	意見書提出先
第4号	30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予算の充実を求める請願	三条市興野3丁目1番9号 新潟県教職員組合三南支部 執行委員長 米山 國男 田上班班長 木津 弘文	採 択	内閣総理大臣 財務大臣 文部科学大臣 総務大臣



渡邊正策 議員

私は中店地区推薦並びに各地区の大勢の皆さんからの応援を受け、町議会に送っていただきました。

議員の一言一句は、とりもなおさず住民の意見であり、住民の声であるところへ、あり、議員が行う質問や質疑・討論は同時に住民の疑問であり、表決において投票する一票は住民の立場に立つての真剣な一票でなければならぬと、とあります。

私の目標・意図するところは、皆さんの声を・要望を代表して私の声で町政に伝え、町政に取上げて貰えるように行動し、間違ひ無く実施されているか正しく行われているか、「この目・この耳で確認し、その状況を地域の皆さんへ報告して行く役目を担っている事」であります。先輩諸氏には宜しく「指導をお願い申し上げます。」

財政再建の現状と見通しについて

町長が決意した『財政再建計画、経過報告』を町民の顔を見て説明されるのが一番の心配りではないかと思うが。

町長 昨年10月号の「きずな」で町民に平成18年度版財政フレームとして平成17年度決算ベースに平成24年度までの財政見通しについて報告しています。その特徴点は、平成18年の歳入は税源移譲により町税が大幅に伸びるもの、これに伴う所得譲与税の廃止や約5千万円の普通交付税の減税、国県からの補助金の減額や廃止があります。また、歳出は施設の修繕費や

児童手当の拡大に伴う経費増を予測、町財政の厳しい状況はしばらく続くだろう、との考え方で平成18年度版の財政フレームを作成しました。

『顔を見て説明』はその通りです。実は今年度はこれまでの財政再建経過等もそうですが、本当にこれから町をどうするか今後どうしていくかということについても地域住民説明会をと思って今考えているところです。が、財政フレームができる11月ころまでには説明していきたいと思っています。

地区活動にもっと補助金を!

問 地域の発展なくして町の発展なし、公民館活動・敬老会事業などにはもっと補助金を。

町長 本年度は23地区から補助金対象額329万3千円の申請で助成金予算150万円を上回っている状況ですが、予算内調整の結果、実質45%の助成交付予定です。現在、町としても財政健全化の途上にある中、予算の範囲内でできる限り地区の取組みに対して支援を行って行きたいと考えておりますので、「理解をいただきたい」と思います。今後とも各地区におきましては、一層の創意工夫により「ミニ」活動が活発になり、地区の活性化が図られるよう願っています。



中店地区の夏まつり「盆おどり大会」

一般質問



池井豊 議員

ゴミの不法投棄について

問 今年の春先、羽生田川の上流にゴミが大量に捨てられていました。環境問題ばかりでなく、水害にも関連するおそれがあります。

町長 4年前9月議会の一般質問でもしましたが、罰則規定を含む「ポイ捨て防止条例」「ミニ」の不法投棄に関する条例は、その後どのような検討しているのかをお答えください。

町長 「ミニ」の不法投棄はなかなか無くなるのが実態です。庁議で検討しましたが、条例の効果に疑問があると言いつつ、条例の制定はいたっておりません。



河川のゴミ回収

羽生田川水害対策関連について

問 羽生田川沿い護岸面のズレやひび割れているような箇所も見受けられます。また、スリットで地面を突つくと明らかに

いじめについて

音の響きが違う箇所があります。町では護岸面の点検はどのような間隔でどのような方法で行なっているのかを質問致します。また、空洞発見の為に非破壊検査はできないでしょうか？

町長 除草、江ざらい、護床、護岸の工事を行っております。工事作業の時に点検しています。地下の空洞の探査方法は町に無く、空洞になりやすい場所は地域整備課で大体見当がついています。

次に「いじめ」と「からかい」の違いについて、その違いをどうとらえているか質問します。

教育長 いじめは人間として絶対に許されない行為であると言った強い認識に立って、「いじめ」の早期発見、即時対応、早期解決。「いじめ」を生まない「いじめ」を許さない学校づくり。この二点を柱にして各学校のいじめ対応体制の確立を校長会等を通して周知徹底を図っております。

「いじめ」と「からかい」の違いは、からかいは親しみを込めたものも有れば、いじめの芽になるものもあります。からかわれた側が精神的苦痛を感じているかにより、集中したり、継続したりすればいじめになります。





小野澤健吉 議員

バイオエタノール製造の減反に及ぼす影響について

東港に施設を建設する。その原料となる米は県内のJAにいがた南蒲、JAえちご上越が中心となっている。

国際的には将来食糧不足が指摘され、現在日本は減反政策に苦しんでいるが、その事によって減反面積に変更があるかこの政策を町長はどう考えるか伺う。

問 地球温暖化対策に最も有効な植物からつくられるバイオ燃料が世界的に注目を集めている。

農林水産省は去る5月31日に、ガソリンの代替燃料として注目されているバイオエタノールを大規模に製造し、流通させる実証事業を新潟と北海道で実施すると発表をした。20年度までに計3万1千キロリットル13億円をかけて新潟

町長 バイオエタノールは二酸化炭素の排出抑制効果があり地球温暖化の防止策につながる事が期待されている。一方米を利用したバイオエタノールの生産拡大はコメの抑制が課題となる。

現在JA南蒲とJAえちご上越に36ヘクタール栽培されており、転作面積にカウントされているが価格面で加工米より安価である。転作面積の緩和の特別な配慮は今のところない。今後、町が原料米として栽培に取り組みかどうか未定である。

湯っ多里館の外壁工事について

問 建築7年しか経っていないのに、外壁の全面改修とはおかしいのではないかと。設計、管理上に問題はなかったのか。

町長 高台にあり、思ったより風雨が強く腐食が進み今のうちに全面張替えをしたい。

新材料は木目調のサイディングに張り替える。この材料だと20年30年は維持管理の必要性が無いとされている。

地区の不在地主対策について

問 地区の環境整備に困っているのが不在地主の土地の対応である。

不法侵入策の法的な問題もあって勝手に整備も出来ない。個人情報保護条例等もあって地区から役場に問い合わせても、地主を教えるはもらえない。だとして役場で対応してほしい。

町長 迷惑をしている事を文書で通知している。今後、応じない場合は業者に草刈りなどを委託して、かかった費用は地主に請求することも検討したい。

一般質問



川口與志郎 議員

新しい保育園、幼稚園について

問 国会は「認定子ども園」という保育所と幼稚園を一体化する法律を成立させました。

これは町立ではなく、町の認定基準によって設立される園です。そして園に入所する保護者と園とが契約することによって入所することができます。いくつかの問題があります。

特別な配慮が必要な子どもへの利用が排除されることがあります。入所できるかどうかは、保育料を払えるかどうかは、左右され、保育料も高くなる可

能性があります。そして、保育士の配置の問題、学級定数のこと、調理室や運動場など施設、設備の問題です。この園を町が管理できるかどうかといつてもあります。これらの問題を考えますと、公設、公営がよいのではないですか。



竹の友幼稚園の運動会

救急医療体制の確立と加茂病院の充実について

問 県中に救急医療体制がないこと、加茂病院が縮小されてきていることは、田上町にとっては切実な問題です。早急な解決が望まれます。

町長 町民の要望はよく承知しておりますが救命救急センターがすぐできることは難しく、加茂病院の内容を充実していくことが大切であると思えます。

国保「短期証」の発行を0に

問 田上町は国保の短期証の発行が16世帯あります。加茂市のようにそれを0世帯に出さないでしょうか。



齋藤 勲 議員

子供や住民を安全な建物へ

問 6月9日のマスコミで、文科省が全国で約13万棟ある公立の小中学校の耐震調査をしたら、4%が耐震性に問題があると報じられていました。

町 町の小中学校や保育所、公共施設の耐震性は大丈夫ですか？災害時に住民は安全な場所に避難できますか？

町長 国、県の通達では耐震診断が必要なのは、田上中学校、羽生田小学校、竹の幼稚園です。勿論保育所の診断も必要です。

羽生田小学校の体育館は診断した結果、安全であることが確認されました。他は財政事情の状況で判断します。

保育所は診断すれば耐震性はないと思いますが、統廃合まで待つべきです。

加茂市と一体で発展するとは？



中学校体育館の天井から落下した一面のボード

問 町長は「きずな5月号」で「今後は加茂市と田上町が一体となって発展することが望まれる」と述べています。これは町長の発言の任期中に町の方向性を考

える」ということと関連がある」と受け止めてよろしいですか？

町長 今までの加茂市との関連を考えての発言であり、合併を意識した発言ではありません。

互いの施設の使用料は同額に

問 町長が言われるように加茂市との交流は歴史があります。特に最近では子供たちのスポーツ・文化は加茂市との交流が中心になってきています。今後お互いの施設の使用料は同料金で利用できるように協議できませんか？

町長 加茂市長とは機会を見てそのように協議したいと思っております。

中小河川の改修にも努力を

問 町長は「きずな」で「才歩川と山田川の目処がついたので、今後は羽生田川と新川の改修を考える」と述べています。しかし、町の中小河川からの出水は周辺住民の不安が消えません。その対策は考えていますか？

町長 羽生田川と新川は公共下水道事業の一環として考えています。

町の中小河川の改修は指摘のとおりです。今年度は各河川の江ざらいや護床工事、羽生田川にゲートの設置、新田堀に排水ポンプの設置、側溝工事は6件予算化しています。また緊急時にも対応できるようにします。

一般質問



中野和美 議員

「頑張る地方応援プログラム」への参加

問 やる気のある地方が自由に独自の施策を展開して、「魅力ある地方」に生まれ変わるよう、取り組む地方公共団体に対して、地方交付税の支援を講じるもので、プロジェクトの例として、「少子化対策プロジェクト」「地場産品発掘・ブランド化プロジェクト」「観光振興・交流プロジェクト」「安心・安全な町づくりプロジェクト」など、田上町で可能と想定される事業のヒントが沢山盛り込まれている。

特に少子化対策として、妊産婦への助成も検討して頂きたい。提案する予定のこのプログラムが急ぎよ今回の補正予算に繰り入れる事となり、歓迎致します。

災害・緊急時の町民への連絡網について

問 先日、光化学スモッグが発生。発生地域とされる上越地域とほぼ同数、三条・燕地域ですが、現在、どのようなプロジェクトについてお考えなのか伺いたい。

町長 町民の参画と協働のまちづくりの趣旨に沿って、職員だけの視野で検討するのではなく、総合的な視点に立ってこの事業を進める為、田上町まちづくり検討委員会を設置し、まちづくりグループや商工会など多くの町民の知恵と力をお借りして、事業を進めていく。これら協議の内容がまとまり次第報告する。

問 先日、光化学スモッグが発生。発生地域とされる上越地域とほぼ同数、三条・燕地域で



からの時代に向け、検討して頂きたい。

町長 私も基本的には同感であるが、導入するに当たり、個人情報であるメールアドレスの管理やシステム経費の検討など必要と考えている。

問 県外の新聞に「携帯に緊急メール6市町が導入・計画」とあり、火災・事故の他、防犯情報も配信。不審者や悪質な訪問販売員が出没した場合、地域や時間、乗っている車、手口などを知らせる。学校にも連絡網として取り入れる。携帯電話が一億台を超える程に普及し、メールが身近な情報媒体となり、自治体の利用が活性化して、安心・安全な町づくりにも繋がる。是非、これ

問 町がメールアドレスを管理したり、多額のシステムを購入しなくても、大手サーバーで個人情報保護管理出来るシステムは既に有る。町民の情報に対する意識が高まれば問題ないので進めていくべきである。

町長 検討したい。

一般質問



関根一義 議員

「頑張る地方
応援プログラム」を
活用した
まちづくりを

「幼稚園建設
構想の検討概要」は
建設を断念した
ものか

検討概要は、自立推進プログラムに基づいて財政的に検討したものであり、現時点の財政状況及び今後の財政フレームから見て公設公営は無理であるとの判断材料を示したものであります。7月中には方針をまとめ理解を得たいと考えています。

農地保全活動・
「河川敷 菜の花園」
構想への支援を

問 「国が提唱している頑張る地方応援プログラム」の第一次に応募した自治体には特別交付税が措置されることから「まちづくり」に貪欲な活用を求めます。

問 少子化の現状は保育所と幼稚園のあり方の転換を必然化させています。また施設の老朽化は放置できないところに来ています。

問 今年度は、地域防災計画の見直し、自主防災組織の確立を打ち出しています。

問 信濃川の河川災害復旧事業に伴い農地保全が重要な課題となっています。

町長の認識と町独自のプロジェクト設置の考え方を伺います。

「幼稚園建設構想の検討概要」では一時金、1億7千625万円の確保が困難。年間運営費の減額に繋がらない。

問 今年度は、地域防災計画の見直し、自主防災組織の確立を打ち出しています。

問 信濃川の河川災害復旧事業に伴い農地保全が重要な課題となっています。

町長 町民参画と協働のまちづくりの趣旨に沿って「まちづくり検討委員会」を設置しました。9月の二次募集に向け、財政面を考慮し従来の単独事業を対象に検討したい。

町長 建設設計画を断念すると言うことですか。町長は建設計画を断念する、の問題点を挙げていますが、公設の場合は、補助金が一切受けられない。

問 今年度は、地域防災計画の見直し、自主防災組織の確立を打ち出しています。

町長 国交省は、河川占用許可は自治体が行えば問題ないとの見解であります。工事の推移を見ながら地元の見解が反映されるよう協力していきます。

町長 建設を断念するものではない。尚、事業に対する財源措置を見極め、今後の事業選択も必要であると考えています。

町長 建設を断念するものではない。尚、事業に対する財源措置を見極め、今後の事業選択も必要であるとと考えています。

町長 平成13年頃から自主防災組織の必要性を提唱し、組織

町長 国交省は、河川占用許可は自治体が行えば問題ないとの見解であります。工事の推移を見ながら地元の見解が反映されるよう協力していきます。

「自主防災組織づくり」には
財政措置を含めた条件整備を

常任委員会の動き (所管事務調査)

総務 産 経

期 日 平成19年6月8日

総務課

地域防災計画の見直し

計画は平成11年策定したもので国民保護法との関係で平成19年度中に見直し。

有料公告の実施

料金は一社2万円で11件広報紙、封筒、ホームページ）

頑張る地方応援プログラム

取組み経費は交付税で支援(80億円程度)。成果指標により交付税の算定に反映2

千200億円程度)。

尚、交付税の枠内操作のため純増にはならない見込み。

地域整備課

河川工事発注状況

梅雨入りを前にして水害

防止の観点から、河川関係を

優先的工事発注。

産業振興課

湯つ多里館管理

温泉井戸の湯量が激減のため、揚湯試験中に630mから660mにスケールの付着と砂の

堆積がわかりこれらを除去、

結果毎分230リットルに戻った。

委員長 泉田 壽一

社会 文教

期 日 平成19年6月11日

町民課

地区公民館助成の状況

旅券発行の5月末日

までの数

合併浄化槽補助の内

容等

保健福祉課

保育所の入所の状況

心起園の改修の問題

水漏れ部分があり、

床がいたんでいるとの

説明で後日(6月15日)

現地を確認説明を受

ける。

コムスン問題の田上町

への影響等について

教育委員会

学習指導要領が平成21年に
出る予測に基づいて事業を進
めているとの説明。

社会教育関係の人員配置等

の意見の交換があった。

終了後、教育委員の皆さんと

町の教育の現状について懇談の

場を設けていただきました。

委員長 吉田 昭一

加茂市・田上町 消防衛生組合議会報告

期 日 平成19年6月7日

場 所 加茂市役所

議 事

- 一、議長・副議長の選挙
- 二、監査委員の選任
- 三、一般会計補正予算

議 長

高橋禧雄(加茂市議会)

副議長

熊倉良平(田上町議会)

監査委員

齋藤 勲(田上町議会)

一般会計補正予算

焼却灰、ごみ運搬用タンク

トラックの購入に伴い、歳入歳

出にそれぞれ543万7千円を

追加し、歳入歳出の総額をそ

れぞれ10億3千409万4千円

とするもの。

組合議会議員

熊倉 良平
齋藤 勲

関根 一義

渡邊 正策

議員の活動あれこれ

議員の活動は年4回の定例議会とその間の臨時議会・常任委員会・全員協議会などです。また、研修会や視察、来賓出席等による各種行事への参加など活動は様々です。この他にも個人・会派などによる政務調査活動も行われています。



両小学校の運動会に
来賓として参加
5月27日(日)



新潟県町村議会議長会からの在職20年以上の特別
表彰が伝達された

田巻敏氏(前議員)、高橋秀昌氏(前議員)、吉田昭一議員

自治功労者表彰 6月25日(月)
(定例会初日)

広報研修会
5月31日(木)



講師の保坂先生



あじさいまつりの
開園式や
イベントに参加
6月20日(水)~
7月20日(金)



町村議会議員研修会
7月10日(火)



編集後記

議員の定数が削減をされた初めての選挙で14名の議員が誕生した。

去る5月の臨時会で議会の構成も決まり、二つの常任委員会もそれぞれの活動に入っているが、人数が減ったという感じはいなめない。町民の皆様への信託に答えなければならぬという気構えは強く持つべきと思っている。

議会だよりも、議会の中味をよく知っていただき議員の活動を良く理解してほしいとの願いから発刊されてからはや73号。新しく当選をされた議員が中心になって一生懸命に取り組んでいる。

今後のご指導をお願いして後記とする。

(吉田記)

委員長 池井 豊
副委員長 渡邊 正策
委員 吉田 昭一
委員 泉田 壽一
委員 川口與志郎
委員 中野 和美

お知らせ

9月定例会初日の予定

9月18日(火)